

## 【FYQさん～LZTさんの伝搬経路(175.86km)について】

RS: 57/57 で交信できましたが、それぞれの見通し距離は次の様に計算できます。

① 光学的見通し距離(幾何学的見通し距離)

$$3.57(\sqrt{61} + \sqrt{1391}) = 161.03\text{km} \quad (\text{地球の等価半径係数}=1.0 \text{ の場合})$$

② 一般的な電波上の見通し距離

$$4.12(\sqrt{61} + \sqrt{1391}) = 185.84\text{km} \quad (\text{地球の等価半径係数}=4/3 \text{ の場合})$$

※ 61 : FYQ さん移動地の標高(m)

※ 1391 : LZT さん移動地の標高(m)

ここで、実際には見通し図(プロフィール)上には建物や森などの人造物等の影響があるので、いずれにしても計算上の距離よりは短くなるのが想像できます。LZTさん提供の見通し図では120kmで見通しでなくなっていますね。

本例の場合、光学的距離より遠距離に、それもかなり良い状態で交信できていることを考えると、電波伝搬上はほぼ見通し状態になっていたのではないかと考えています。

## 【SXAさんの移動地について】

四万川ダムサイトで標高は770mと高い方にもかかわらず、飛びはイマイチだった様です。

ただ、周囲は数百mの山に囲まれているロケーションのようで、6mの伝播には厳しかったようです。

しかし、LZTさんやセンター局のWOBさんとは、山岳の遮へい損失を乗り越って60km台の交信ができていますのでから厳しい条件からすれば良しとするべきかと。